



## イワナやヤマメは、どうして山の川にしかいないの

### 冷たい水にしかすめないから

イワナやヤマメをつろうとすると、山のかなり上の方の、谷川まで行かなければなりません。イワナやヤマメは、冷たくてきれいな水の川にしかすめないのです。ですから、気温が低い地方では、水がきれいな平地の川で、イワナやヤマメが見つかることがあります。

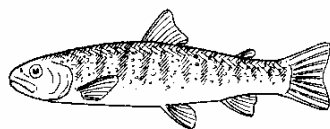
昔、地球に氷河期とよばれる寒い時期があり、イワナやヤマメは平地の川にいたのが、地球が暖かくなってきたため、冷たい水の谷川などに取り残された、ともいわれています。

### イワナやヤマメは、サケの仲間

イワナは、1年中水温が15℃以下の上流の谷川にすみ、岩かげなどにかくれていて、水生こん虫などが流れ落ちてくるのを食べます。秋に、川底の砂や石をほって産卵します。

ヤマメは、水温が20℃以下の水中にすみ、川上のほうに頭を向けて泳いでいて、上流から、流れてくるこん虫などを食べています。オスは一生川でくらしませんが、メスは、卵からかえって1年半後には、サケのように海に下るものがかなりいます。北の地方ほど、メスは海でくらし、産卵のときだけ、また川の上流へもどってくる人が多いのです。海に出て体が大きく育ったメスのヤマメは、サクラマスとよばれます。

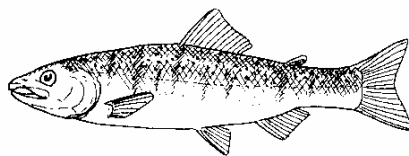
じつは、イワナやヤマメは、サケやマスと同じ仲間なのです。（監修・安部 義孝）



イワナ



ヤマメ



サクラマス

